

令和7年度 県立大子清流高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	良好に目標が達成されており評価は妥当と考える。重点目標に対し適切な手立てが取られていると感じた。地域とのつながりを考慮しつつ、様々な取組ができていた。生徒確保が難しくなる中、個々に応じたきめ細やかな対応と地域に特化した教育内容が着実に目標に向かっている。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	良好に目標が達成されており評価は妥当と考える。具体的方策では可視化された内容や具体的取組目標が掲げられそれが達成されていた。電子機器の活用により生徒が楽しく学べる教育を推進できている。幅広い学力層に対し、きめ細やかで多様なかわりを積極的に行っていることが評価できる。生徒一人ひとりの人格形成や自己向上がいかに図られてきたかが重要である。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	<input checked="" type="radio"/> A 十分把握している <input type="radio"/> B おおむね把握している <input type="radio"/> C あまり把握していない <input type="radio"/> D 把握していない	町内からの入学志願者の確保など生徒数の減少や減少による影響について適切に把握されている。具体的方策の達成状況を適切に把握し次年度への方向性だけでなく具体的な内容が示された。広報活動など将来につながることを考慮している。個々の生徒に何が必要なのかを把握し、基本的な考えや習慣、主体的に生きる力を持つ人材の育成にさらに取り組んで欲しい。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	<input checked="" type="radio"/> A 適切である <input type="radio"/> B おおむね適切である <input type="radio"/> C あまり適切でない <input type="radio"/> D 適切でない	地域住民との連携を図るなど改善へ向けた取り組みが進められており適切である。具体的方策の達成状況を適切に把握し次年度への方向性だけでなく具体的な内容がしめされていた。少子化の中、総合学科においても地域とのつながりを活用し全国募集へ向けた改善策を取っている。地域や生徒の特性を踏まえ、個々の成長を図る取組をさらに前に進めて欲しい。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。